

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月21日(火)

事務事業		男女共同参画推進センター管理事業		担当課	人権政策課	担当係	男女共同参画推進センター	管理番号	3017	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	一人ひとりの個性が尊重されるまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市男女共同参画推進センター条例 深谷市男女共同参画推進センター条例施行規則 第3次深谷市男女共同参画プラン					
	小項目	2	男女共同参画の実現							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		男女共同参画を推進する活動拠点施設としてセンターを運営するとともに、各種団体等の自主活動のための貸館業務や、隣接する上柴図書館と連携して資料の充実を図ることにより、男女共同参画社会の実現を目指すものである。								
目的 ※何のために		男女共同参画推進センター利用者の快適かつ安全な利用のため。								
対象 ※誰・何を対象に		男女共同参画推進センター								
手段 ※どのように		施設の保守点検、適切な運営を行う。								
成果 ※何を求めるか		利用者の快適かつ安全な利用を通して男女共同参画社会の推進を目指す。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	10	男女共同参画推進費	男女共同参画推進センター管理事業	4,285,362
本事業の 主な業務		・男女共同参画推進センター維持管理						・		
		・男女共同参画推進センター利用許可						・		
		・男女共同参画推進センター使用料徴収						・		
		・						・		
		・						・		
		・						・		

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	13,521,000	16,154,000	5,055,000	5,345,000	5,316,000	0
	決算額	13,132,133	15,720,652	4,663,942	4,447,252	4,285,362	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	5,153,960	4,886,070	4,252,000	2,437,260	2,768,630
	一般財源	7,978,173	10,834,582	411,942	2,009,992	1,516,732	0
人件費	従事職員数(人)	2.68	2.53	2.73	0.40	0.30	0.00
	人件費相当試算※	20,847,720	20,505,650	22,126,650	3,254,400	2,328,575	0
総事業費試算		33,979,853	36,226,302	26,790,592	7,701,652	6,613,937	0

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	年間開館日数	目標値	日	359	359	360	359	359	
		実績値		359	359	360	299	359	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		当該年度における施設開館日数						
	実績値の算出式								
活動指標 2	修繕件数	目標値	件	0	0	0	0	0	
		実績値		0	1	1	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年間修繕件数						
	実績値の算出式								
成果指標 1	L・フォルテ利用者数（有料・無料合計）	目標値	百人	1000	1000	500	500	500	
		実績値		1100.05	1026	528.62	129.58	250.08	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		利用実績統計より						
	実績値の算出式								
成果指標 2	事故発生件数	目標値	件	0	0	0	0	0	
		実績値		0	0	0	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		施設管理上で発生した事故件数						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	新型コロナウイルス感染症を鑑み、感染予防対策を行いながら施設の維持管理を行い、快適に施設を利用していただくことができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	新型コロナウイルス感染症予防対策のため、時間短縮を行った結果利用者数は減少したが、施設内で事故の発生もなく、安全に施設を利用していただくことができた。
			評価者 男女共同参画推進係長 吉岡 孝行

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	新型コロナウイルス感染予防対策を実施しながら安全に施設を使用していただき適切な施設運営を行うことができた。
			評価者 男女共同参画推進係長 吉岡 孝行

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	安全・快適な利用に向けた維持管理の徹底
達成状況及び その効果	感染症予防対策を実施しながら、施設及び備品等についても適宜点検を行い、安全かつ快適に施設を利用していただくことができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	男女共同参画推進センター管理事業	担当課	人権政策課	担当係	男女共同参画推進センター	管理番号	3017
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		施設利用者が安全かつ快適に利用できるよう、適切な施設管理ができた。男女共同参画推進センターは隣接する上柴公民館の運営の見直しにあわせ、利用者の利便性を考慮し、上柴公民館と統合したため令和4年3月31日をもって廃止した。貸館業務は今後、上柴公民館が運営していく。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	人権政策課長 坂倉 美由紀				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

